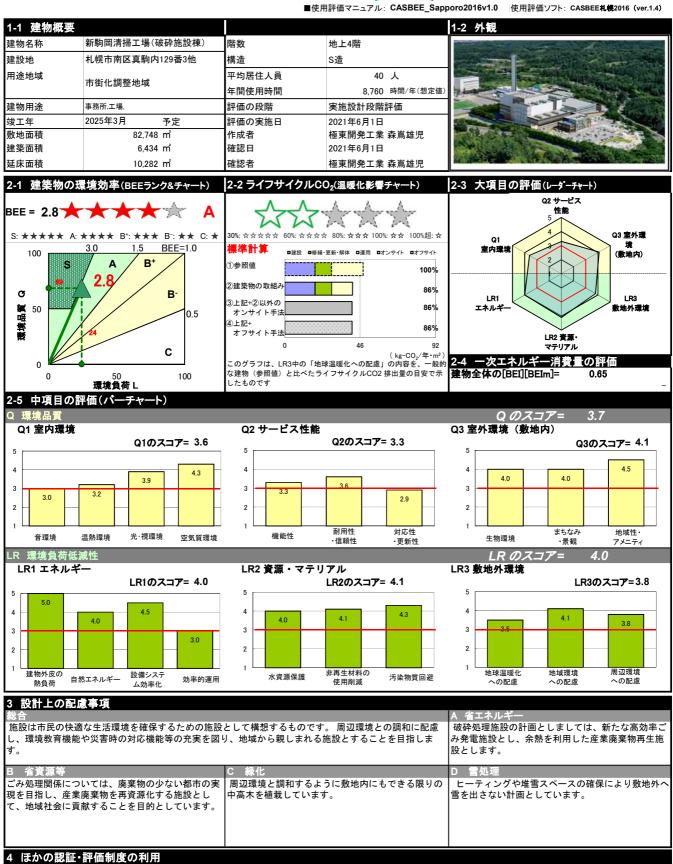
評価シート.xlsx 結果(公表・印刷提出)

COMprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency CASBEE木L現



▮評価結果



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

上記以外の認証・評価制度の利用

■OASDLE: Obligation is the Assessment System for Built Environment Efficiency (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

BFIS認証

■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

LEED認証

CASBEE札幌2016 (ver.1.4) 新嗣岡清掃工場(破砕施設棟) ■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.4) スコアシート 実施設計段階
 建物全体・共用部分
 住居・宿泊部分

 評価点
 重み 係数
 評価点
 重み 係数
 配慮項目 環境配慮設計の概要記入欄 Q 建築物の環境品質 Q1 室内環境 0.32 3.6 1 音環境 3.0 0.15 3.0 1.1 室内騒音レベル 3.0 0.40 3.0 1.2 遮音 1 開口部遮音性能 3.0 0.60 2 界壁遮音性能 3.0 0.40 3 界床遮音性能(軽量衝擊源) 4 界床遮音性能(重量衝擊源) 1.3 吸音 3.0 0.20 -2 温熱環境 3.2 0.35 3.2 2.1 室温制御 0.50 3.5 1 室温 3.0 0.38 窓システム外壁において室内への熱の進入に十分な配慮がなされている 2 外皮性能 省エネ 5.0 0.25 _ 3 ゾーン別制御性 3.0 2.2 湿度制御 3.0 0.20 2.3 空調方式 3.0 0.30 3 光·視環境 3.9 0.25 3.9 **3.1** 昼光利用 4.6 0.30 昼光率 6.5% 1 昼光率 5.0 0.60 2 方位別開口 トップライトの設置 省エネ 3 昼光利用設備 4.0 0.40 3.2 グレア対策 3.0 0.30 1 昼光制御 省工木 3.0 _ 1.00 2 映り込み対策 3.3 照度 3.0 0.15 照明自動制御スケジュール運転 3.4 照明制御 5.0 0.25 4 空気質環境 4.3 0.25 4.3 4.1 発生源対策 5.0 0.50 内装材は全てF☆☆☆☆を使用+VOCにも配慮 1 化学汚染物質 5.0 1.00 4.2 換気 3.3 0.30 1 換気量 3.0 0.33 自然換気有効開口面積が室面積の1/30以上 2 自然換気性能 4.0 0.33 3 取り入れ外気への配慮 3.0 0.33 4.3 運用管理 4.0 0.20 1 CO₂の監視 3.0 0.50 全館禁煙 2 喫煙の制御 5.0 0.50

評価シートxlsx

サービス性能			-	0.30	-	-	3.
機能性			3.3	0.40	٠	-	3
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40		-	
1 広さ・収納性			3.0	0.33		-	
2 高度情報通信設備対応			3.0	0.33		-	
3 バリアフリー計画			3.0	0.33		-	
1.2 心理性·快適性			3.0	0.30		-	
1 広さ感・景観 (天井高)		事務室の天井高2.7m以上となっており、かつ、すべての執務者が十分な屋 外の情報を得られるように窓が設置されている	4.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上	4.0	0.33		-	
3 内装計画			1.0	0.33		-	
1.3 維持管理			4.0	0.30	•	-	
1 維持管理に配慮した設計		外部に露出する金属部材にメッキ処理等の特別な防錆対策が取られている。	4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		清掃用資材を保管するスペースを計画している。	4.0	0.50	-	-	
耐用性·信頼性			3.6	0.30	-	-	
2.1 耐震·免震·制震·制振			3.8	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		地震荷重 重要度係数1.25	4.0	0.80	-	-	
2 免震·制震·制振性能			3.0	0.20	-	-	
2.2 部品·部材の耐用年数			3.5	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	金属断熱サンドイッチパネル	4.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源		2.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	一般配管用ステンレス銅鋼管 塩ビパイプ	5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	省資源		3.0	0.20		-	
2.4 信頼性			3.6	0.20		-	
1 空調・換気設備			3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備		節水型便器・水栓を採用している	5.0	0.20		-	
3 電気設備			3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法			3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備		精密機械の地下空間への設置を避けている	4.0	0.20		-	

評価シートxlsx

3	対応性・更新性			2.9	0.30		-	2.9
	3.1 空間のゆとり			2.6	0.30		-	
	1 階高のゆとり			1.0	0.60		-	
	2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率<0.1	5.0	0.40		-	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
	3.3 設備の更新性			3.2	0.40		-	
	1 空調配管の更新性			2.0	0.20		-	
	2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
	3 電気配線の更新性		ケーブルラック:仕上材を痛めることなく更新・修繕ができる。	5.0	0.10		-	
	4 通信配線の更新性		ケーブルラック:仕上材を痛めることなく更新・修繕ができる。	5.0	0.10		-	
	5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
	6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
3	室外環境(敷地内)				0.38	-	-	4.
1	生物環境の保全と創出	緑化	敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりをしている	4.0	0.30	-	-	4.
2	まちなみ・景観への配慮	緑化	建物高さ外装の形状や色彩において周辺のまちなみや風景にバランス良く 調和させている。	4.0	0.40	-	-	4.
3	地域性・アメニティへの配慮		BOTHCC CV WO	4.5	0.30	-	-	4.
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	雪処理	建物の一部に地域に開放された見学者用通路を設けている	5.0	0.50	-	_	Н
	3.2 敷地内温熱環境の向上	省資源	周辺敷地の風の環境を把握している	4.0	0.50		-	
R	建築物の環境負荷低減性	緑化			_		_	4.
-	エネルギー				0.40			4.
	建物外皮の熱負荷抑制	省工ネ	BPIm0.52	5.0	0.04	_	_	5.
	自然エネルギー利用	省工木	トップライトの設置	4.0	0.12		_	4.
	設備システムの高効率化	省工木	[BEI][BEIm] = 0.65 —	4.5	0.60	_	_	4.
	効率的運用	B-1.	[SER][SERII]	3.0	0.24	-	_	3.
•	集合住宅以外の評価			3.0	1.00		_	-
	4.1 モニタリング	省工木		3.0	0.50		_	
	4.2 運用管理体制	省工木		3.0	0.50		_	
		オーイ		3.0	0.50	-	_	
	集合住宅の評価	15 - ±			-			
	4.1 モニタリング	省工木			-		-	
	4.2 運用管理体制	省工ネ			-		-	
	資源・マテリアル			_	0.30	-	-	4.
1	水資源保護		節水型便器の採用	4.0	0.20	•	-	4.
	1.1 節水			4.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		雨水利用システムを導入している	4.0	0.60		-	
	1 雨水利用システム導入の有無		雑排水利用システムを導入している	4.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		和サルやリカンへ」公と等人している	4.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減			4.1	0.60		-	4.
	2.1 材料使用量の削減	省資源		2.0	0.13		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	省資源		-	-		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源	_	3.0	0.25		-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源	セラミックタイル 岩綿吸音板 再生クラッシャラン	5.0	0.25		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	省資源	持続可能な森林から産出された木材の使用比率が50%以上	5.0	0.13		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	省資源	LGS フリーアクセスフロア	5.0	0.25		-	

評価シートxlsx

3 汚染物質含有材料の使用	回避			4.3	0.20		-	4.3
3.1 有害物質を含まない	材料の使用		安全データシート4種類以上	5.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避	<u> </u>			4.0	0.70		-	
1 消火剤		省資源		-	-		-	
2 発泡剤(断熱	材等)	省資源	ODP=0.01未満かつ、GWPが低い発泡剤(GWP(100年値)が1以下)を用い た断熱材等を使用している ノンフロン	5.0	0.50		-	
3 冷媒		省資源		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				_	0.30	-	-	3.8
1 地球温暖化への配慮		省資源	ライフサイクルCO2排出率を低く抑えている。	3.5	0.33	٠	-	3.5
2 地域環境への配慮				4.1	0.33	-	-	4.1
2.1 大気汚染防止		省資源	発生源におけるばいじんの濃度が大幅に抑えられている	4.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改	É	省資源 緑化 雷処理	卓越風などの風環境を把握している	4.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負	荷抑制	- 22/4		4.5	0.25		-	
1 雨水排水負荷	 市低減	省資源	必要対策以上の流水抑制をしている	4.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷			排出基準を満たした上で汚水処理負荷を高く抑制してる	4.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制	il		適切な量の駐車スペースを確保している	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理1	負荷抑制	省資源	除排雪の為の経路の確保をしている	5.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮				3.8	0.33		-	3.8
3.1 騒音・振動・悪臭の	方止			4.3	0.40		-	
1 騒音			騒音規制法に定める現行の規制基準より大幅に抑えられている	5.0	0.33		-	
2 振動			振動規制法に定める現行の規制基準より大幅に抑えられている	5.0	0.33		-	
3 悪臭				3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻	害の抑制			3.0	0.40		-	
1 風害の抑制				3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制				1.0	-			
3 日照阻害の	印制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制				4.4	0.20		-	
1 屋外照明及び	屋内照明のうち外に漏れる光への対策		チェックリストの項目の過半を満たし、広告物照明を設置しない	5.0	0.70		-	
2 昼光の建物タ	壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency CASBEE TUR



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト:

CASBEE札幌2016(ver.1.4)

1 建物概要					
建物名称	新駒岡清掃工場(破砕施設棟)				
建物用途	事務所,工場,	BEE	2.8	BEEランク	Α
延床面積	10,282.0 m ²				



3. 重点項目のCASBEEス	コア						
A 省エネルギー (最高点	22.5	最低点	6.7)		合計	18.3点	/22.5点
Q1 温熱環境	スコア	0.8	∕0.8 I	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	0.8	∕0.8
Q1 光·視環境	スコア	1.1	∕1.7 I	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.9	/2.4
			I	LR1 設備システムの高効率化	スコア	10.8	∕ 12.0
			I	LR1 効率的運用	スコア	2.9	/ 4.8
B 省資源等 (最高点	24.3	最低点	7.6)		合計	19.3点	/24.3点
Q2 耐用性·信頼性	スコア	0.8	∕1.1 I	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	7.4	∕9.0
Q3 地域性・アメニティへの酢	記慮 スコア	2.3	∕2.9 I	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.7	∕1.9
			ı	LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.5	∕ 5.0
			I	LR3 地域環境への配慮	スコア	3.6	/ 4.4
C 緑化 (最高点	18.7	最低点	3.7)		合計	15.0点	╱18.7点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	4.6	∕5.7 I	LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0	/2.5
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	6.1	∕ 7.6				
Q3 地域性・アメニティへの酢	記慮 スコア	2.3	/2.9				
D 雪処理 (最高点	3.0	最低点	0)		合計	3.0点	/3.0点
Q3 地域性・アメニティへの酢	記慮 スコア	1.0	∕1.0 I	LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0	/2.0

- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム) ■G: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
- ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- ■重点項目の最高点は、各評価項目でレベル5で評価された場合の点数 ■重点項目の最低点は、各評価項目でレベル1で評価された場合の点数